

地域再生計画（地方創生道整備推進交付金）中間評価調査

都道府県名	山梨県	事業実施主体	山梨県・早川町・富士川町		地域再生計画名	「森林・観光」資源を活用した早川町・富士川町地域活性化計画				
計画期間	令和3年度～令和7年度	評価責任者	山梨県 治山林道課長、道路整備課長							

①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標		基準値		中間目標値			最終目標値		中間評価	達成状況		中間目標値の実現状況に関する評価
			基準年度		年度	中間実績	基準年度						
	指標 1	観光入込客数の増加	528, 827人	R 1	528, 827人	R5	433, 532人	528, 827人	R7	×	指標総数	達成数	
	指標 2	主間伐搬出量の増加	28, 431m3	R 1	45, 006m3	R5	60, 629m3	59, 705m3	R7	○	2	1	全国旅行支援の終了が影響し中間実績にて目標値を下回った。しかし、計画初年度の令和3年度（402, 727人）と比較すると増加傾向であるため、引き続き計画に則した整備を図り、最終目標値の達成を目指していく。
②事業の進捗状況	事業名		整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価							
			計画	中間年度（R5）	最終実績見込み								
特別措置を適用して行う事業	町道整備事業（整備延長）		360m	121m	387m	当初計画に対し、路線延長から見る進捗率は34％と若干の遅れが生じているため、今後は更なる事業の進捗を図るため、十分な予算を確保しつつ最終目標値を達成できるよう整備を推進していく。							
	林道整備事業（整備延長）		2, 295m	1, 011m	1, 724m	当初計画に対し、路線延長から見る進捗率は44％と若干の遅れが生じているため、今後は更なる事業の進捗を図るため、十分な予算を確保しつつ最終目標値を達成できるよう整備を推進していく。							
その他の事業													
計画外で独自に実施した事業	森林環境保全整備事業		搬出間伐等の森林施業と一体になった林業専用道の開設を行う			林業専用道の開設を計画的に進めたことにより、林業経営の効率化の推進に寄与した。							
	おもてなし森林景観創出事業		森林景観形成・修景施業を行う			観光振興のための良好な自然環境及び景観の保全を図るため、森林景観形成・修景施業を実施した。							
	造林補助事業		計画的に植栽や間伐等の森林施業を行う			植栽、下刈り、間伐等に対し補助を行うことにより、林業経営の健全化に寄与した。							
	県有林収穫事業		県有林内における木材の収穫			県有林内において収穫事業を行い、木材の計画的・持続的な供給に寄与した。							
	山村地域活性化林道整備事業		山村地域における林道の整備			林道の改良や安全施設の整備に取組み、山村地域の振興に寄与するとともに、地域住民の通行の安全も確保した。							
③評価方法		中間評価委員会を開催し、中間目標値の実現状況に関する評価・検討等を行った。											
④中間評価の公表方法		山梨県、早川町・富士川町のホームページに掲載											
⑤計画全体の総合評価		本地域再生計画では、道整備推進交付金を活用して町道整備と林道整備を一体的に行うことにより、地域間のネットワーク網を整備することで、幹線道路等の渋滞を緩和しアクセス時間短縮を図り、観光入込客数や木材搬出量の増加により地域の活性化に寄与することを目的としている。 なお、指標 2 については中間目標値を達成したが、指標 1 の観光入込客数の増については、中間目標値を下回っている。前年度実績も下回ることとなったが、これは令和2年から継続的に続いていた旅行支援政策が終了したことによるものと考えられる。しかし、計画初年度の令和3年度と比較すると観光入込客数は増加しているため、引き続き計画に則した整備を図り、最終目標値の達成を目指していく。											
⑥今後の方針等	中間評価結果の反映状況					有りの場合その具体的内容							
	地域再生計画の見直し（有・無）												
	令和6年度予算要望額への反映（有・無） 有りの場合の増減額 千円												
⑦今後の方針等に対する対応													

地域再生計画 中間評価参考資料

都道府県名	山梨県		地域再生計画の名称		「森林・観光」資源を活用した早川町・富士川町地域活性化計画	
施行主体	山梨県、早川町、富士川町		計画期間		令和3年度～令和7年度	
地域再生計画の概要	富士川町・早川町地域は、間ノ岳、農鳥岳、七面山をはじめとした南アルプスの山々の山麓に位置する地域で、年間を通じて登山客をはじめとした多くの観光客が訪れており、中でも七面山は山岳信仰で知られる霊山で多くの参詣客を迎え入れている。近年では、アニメによりこの地域が取り上げられたことで、多くのイベントやコラボ企画などが開催され、若い世代の観光客も増えつつある。また、本地域の人工林比率は県平均を大きく上回っており、高齢級林を多く抱えた状況であるうえ、大型合板工場の操業開始による木材の需要の高まりに伴い、伐採搬出のための大型車両の通行の増加も確実となっている。 このように、観光客や木材搬出の増加が見込まれる中、各拠点間のアクセス路において幅員が狭小であるなど、町道・林道の整備が遅れていることから、これらを連携して一体的に整備することにより、各拠点間および、中部横断自動車道から拠点へ向かうルートを確認するとともに、林業拠点から搬出された木材を製材所や市場へ運搬するルートを確認し、地域産業の競争力強化に資する道路ネットワークの構築を図る。さらに、自然環境の保全に取り組むことで観光入込客数や木材搬出量の増加を図り、地域の活性化に寄与する。					
地域再生を図るために 行う事業	町道「山吹薬袋線」の法面改修、町道「大柵大久保線」の改良事業を行い整備を図る。併せて県営林道「足馴峠線」開設事業及び県営林道「丸山線」の改良事業を実施する。これにより、森林施業に必要な林道網の整備を行う。これらにより、町道・林道と既に整備済みあるいは今後整備予定である高速道路や県道等との連携が図られ、観光地間をつなぐ安全・安心なアクセスルート網が構築される。 加えて、運搬ルートの構築により森林施業における効率化と生産コストを抑えることで、林業・木材産業の生産活動を向上させ、林業の振興を図っていく。また、住民の利便性向上や災害時の孤立への不安の払拭も図ることにより、地域産業だけでなく地域全体の活性化に寄与する。					
主な計画道路の 整備状況写真	早川町道 山吹薬袋線 (着工前) (R5末時点)		富士川町道 大柵大久保線 (着工前) (R5末時点)			
						
主な計画道路の 整備状況写真	県営林道 足馴峠線 (着工前) (R5末時点)		県営林道 丸山線 (着工前) (R5末時点)			
						